

150 未来へつなぐ 靖國の心

靖國神社 御創立150年



御創立百五十年記念事業報告



本年、畏くも天皇陛下が御位に即かせられ、「令和」と改元せられた事、恂に慶祝の極みに存じます。

この佳節、靖國神社は明治二年六月二十九日に招魂社として創建より百五十年を迎えました。先の大戦の終

結より既に七十年以上が経ち、御祭神と直接ご縁のある方々が年々少なくなっており、迫りくる難局に敢然と立ち向かわれた御祭神への奉慰と感謝の心が人々に根ざすことは、国に一層の平和と安寧をもたらす礎石であると信じてやみません。

この度、平成二十八年より崇敬者各位にご奉賛をお願い申し上げ、計画させて戴きました御創立百五十年記念事業は、お蔭をもちまして基幹となる三つの事業を実施致しました。当記念事業では「未来へつなぐ靖國の心」の理念のもと、多様な世代の方が安全に、かつ快適にご参拝を戴き、御祭神への想いを更に深める為の空間づくり、そして不測の事態への対応能力の向上などを主眼に置きました。とりわけ外苑に設置の「さくら陶板」には、靖國神社と全国各地の皆様との絆を深める一助になることを期待しております。皆様には、折々に神社へ足をお運び下さり、籠められた心を感じて戴けますと幸いに存じます。尚、既に延期をお知らせしております拝殿耐震化工事は、令和三年四月の完遂を予定しております。

つきましては、十月十九・二十両日齋行の御創立百五十年記念大祭をもちまして当事業竣成の奉告と相成ります。ここに改めて、ご奉賛賜りましたご遺族・戦友をはじめ、崇敬者各位の御芳情に衷心より感謝申し上げます次第です。今後とも、皆様方のご支援・ご協力を重ねてお願い申し上げます、御礼のご挨拶とさせていただきます。



記念事業の竣成を祝して

靖國神社 崇敬奉賛会 会長

扇 千景



靖國神社御創立百五十年記念事業が滞りなく進められました事、誠に御同慶の至りに存じ、心よりお祝いを申し上げます。

当会が窓口となり取り組んで参りました御創立百五十年記念事業の奉賛活動は多くの方々より御賛同を賜り、御蔭をもちまして多額の浄財献納を果たすことが出来ました。皆様の御厚情に深く感謝申し上げます次第でございます。

この度の事業では、英霊祭祀の中心となる御本殿、靈璽簿奉安殿に関わる工事のほか、憩いの場所としての参拝者休憩所の新築、そして英霊所縁の各都道府県の土を使用したさくら陶板の設置などの境内整備が行われました。新たな環境となった靖國神社に多くの国民が訪れ、英霊へ感謝を捧げられますことを願って止みません。

当会は今後も、新たな歴史の一步を踏み出される靖國神社と共に歩み、英霊の「みこころ」の国民伝播をなお一層果たすべく様々な事業、活動を行う所存でございます。引き続きの御理解と御力添えを何卒お願い申し上げます。

最後に、靖國神社の益々の御隆昌と、会員各位の御健勝を御祈り申し上げまして御祝いの御挨拶と致します。

〈ご報告〉内苑施工

伊藤平左工門建築事務所

取締役社長 井上 説子

この度御創立百五十年の大切な節目を令和という新しい元号と共に迎えられたことに、謹んでお慶び申し上げます。

内苑関係の意義あるお仕事に関わらせていただきましたことは、至上の喜びであるとともに、御本殿建築時に関わらせていただいた弊社として次世代へ継承していかねばならない責務を真摯に受け止めておりました。

今回の記念事業として、外苑を含めて三つの大事業があり、そのうち、内苑では一、本殿・靈璽簿奉安殿関連事業 二、靖国会館・休憩所関連事業の二事業が実施されました。一つ目は、ご高齢になられた方が参拝しやすいように整備することを優先し、三m近い高床式御本殿に昇るエレベーター設置や御本殿内冷暖房設置とあわせて、三十年前に施工した防災設備再整備が行われました。また、約五十年経過した靈璽簿奉安殿外装改修工事、約百二十年前に創建した拝殿の銚金具再仕上げが行われ、継続事

〈ご報告〉外苑施工

株式会社シグ

代表取締役 後藤 徹

御創立百五十年記念事業外苑計画の御竣工、洵におめでとうございます。

本事業は平成二十六年に計画が開始され、平成二十七年八月から着手し、外苑全域にわたる測量を始め、樹木調査、駐車場、手洗所、休憩所、その他インフラ設備に至るまで詳細な調査を実施し検証を重ねてきました。また、平成二十七年は先の大戦から七十年の節目の年であり、全国各地から多くの方々のご参拝され、次世代に英霊の御心を伝えてゆく為にはどのようにすべきかを神社皆様と共に検討してまいりました。

その結果、外苑はこれまで大規模な改修はされておらず、静寂な空間でありましたが、各所の老朽化も著しく部分的な補修ではなく外苑全域の改修が必要であると結論づけられ、新たな外苑の全体構想を構築することとなりました。

御創立より百五十年の敬意は勿論ですが、この大きな節目にあたり、靖國神社様及びご参拝に來られる方々にとり有意義な事業として構築する事を第一に考え、「靖國神社の未

来へ」という基本的な考え方が生まれました。

その全体構想のもと、二つの指針を掲げました。一つは、靖國神社の第一鳥居から本殿へと続く道しるべとして、英霊の故郷の土を用いて制作された「さくら陶板」を設置し、参拝をいざなう空間を創出すること。

もう一つは、創建より様々な催物で沢山の人が集う外苑を、より充実した場として再構築すると共に、有事の際にも多くの方々が集える場として機能すること。

今日の我国の繁栄と平和は戦死者の礎の上に築かれたものでございます。戦死者に対し国民が心を寄せてまいる事が我国の恒久平和に繋がるものと信じ、英霊のご加護のもと本計画の設計、施工関係者全員一丸となり、総意を尽くして取り組んでまいりました。ご遺族、崇敬者はもとより、何より英霊にとつて心鎮まる環境を整えることができたものと思っております。

靖國神社様の益々のご発展とご隆昌をお祈り申し上げますと共にこの事業を通じて我国の戦死者慰霊の中心的施設である靖國神社を始め全国の護國神社に多くの方々のご参拝戴き、英霊に対し感謝の真心を捧げて戴けることを切に願っております。

本殿・拝殿・霊璽簿奉安殿 関連工事



本殿



バリアフリー棟(平成29年4月竣工)



本殿周辺防災設備(平成30年3月竣工)

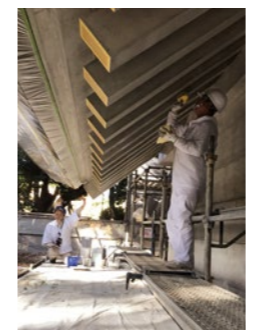


本殿内冷暖房機器(平成30年5月竣工)

本殿は明治五年に建築され、平成元年には「昭和の大修築」が行われました。この度、殿内に冷暖房機器を設置し、バリアフリー棟(エレベーター)を設置するなどして、多くの方が正式参拝しやすい環境が整えられました。また、本殿周辺の消火機器など防災設備を一新し、不測の事態への対応を強化しました。

拝殿は明治三十四年に建築されて以来、修繕を重ねてまいりましたが、今回、錆金物を補修し、耐震化工事を計画しました。(耐震化工事は令和三年四月竣工予定)

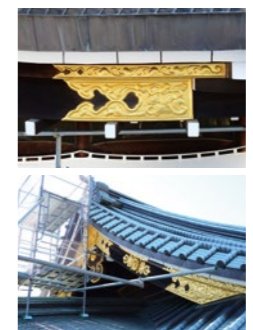
昭和四十七年に建築の霊璽簿奉安殿は、経年により傷んだ、外装や金物類の補修工事を実施し、霊璽簿などの保管に万全を期しております。



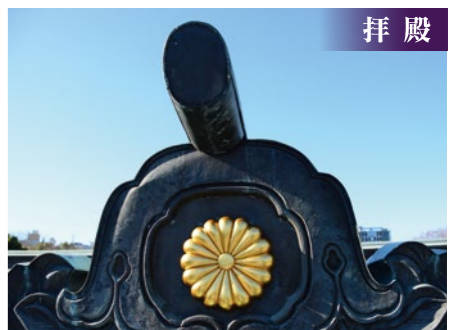
軒下の補修



外装を補修し、防水塗装を施す(平成30年12月竣工)



拝殿各所の錆金物(平成30年12月竣工)



拝殿

靖国会館内装改修 休憩所の設置工事



靖国会館

靖国会館は昭和九年「国防館」として竣工、現在では会議や直会ができる施設、また無料休憩所として使用されておりますが、館内設備の老朽化などの為、二階内装及びトイレの改修工事を行いました。

また、かつて靖国会館前の地下トイレがありました。場所には、新たな「参拝者休憩所」を新築し、参拝者の利便向上を図りました。



写真上:2階・偕行の間
写真中:2階・田安・玉垣・九段の間
写真下:2階・トイレ
(平成29年2月竣工)



参拝者休憩所



写真上:休憩所内
写真中:カウンター
写真下:洗面所・トイレ
(平成28年12月竣工)

- | | | | | |
|---|---|---|--|---|
| <p>令和元年</p> <p>6月10日
さくら陶板設置完了</p> <p>6月10日
第一鳥居下
参道工事竣工</p> <p>10月1日
外苑休憩所竣工</p> | <p>平成28年</p> <p>12月29日
参拝者休憩所竣工</p> | <p>平成29年</p> <p>2月24日
靖国会館内装
改修工事竣工</p> <p>4月18日
本殿バリアフリー棟竣工</p> <p>12月25日
外苑第二駐車場
改修工事竣工</p> | <p>平成30年</p> <p>3月19日
外苑第一駐車場
改修工事竣工</p> <p>3月30日
本殿・拝殿防災設備
改修工事竣工</p> <p>5月31日
本殿冷暖房化工事竣工</p> | <p>令和元年</p> <p>6月26日
外苑中央広場竣工</p> <p>12月25日
第一鳥居
美装工事竣工</p> <p>12月25日
大村益次郎銅像
美装工事竣工</p> <p>12月26日
外苑慰霊の庭竣工</p> <p>12月26日
外苑憩いの庭竣工</p> <p>12月27日
外苑西詰所・東詰所竣工</p> <p>12月27日
拝殿錆金物
補修工事竣工</p> <p>12月27日
霊璽簿奉安殿
補修工事竣工</p> |
|---|---|---|--|---|





境内外苑整備工事

参拝者への道標「いざない」プロジェクト

外苑北側を本殿への参拝誘導と慰霊の心に触れる場とするため、遊歩道やベンチを設けるなど「慰霊の庭」「憩いの庭」として再整備しました。慰霊の庭には「いざない」プロジェクトとして全国都道府県の土や石を用い、現地の陶工等が桜をかたどった「さくら陶板」を焼成し、庭内各所に設置しました。

更に大村益次郎銅像周辺を中央広場として拡張し、清新な場を創作しました。

また、錆や腐食の見られた第一鳥居と大村益次郎銅像の美装工事や、第一鳥居下参道の傾斜を緩和、石畳による全面舗装工事を行いました。



さくら陶板 (令和元年6月竣工)



第一鳥居美装 (平成30年12月竣工)



大村益次郎銅像美装 (平成30年12月竣工)



憩いの庭 (平成30年12月竣工)



中央広場 (平成30年6月竣工)



慰霊の庭 (平成30年12月竣工)

その他の諸工事

外苑北側に新たな「外苑休憩所」を設け、土産物などの神社直営売店と喫茶・軽食のための委託店舗を導入。

また、外苑駐車場の再整備と共に、詰所を二ヶ所設置し、安全管理の強化及び清潔感ある環境づくりに努めました。



外苑休憩所 (令和元年10月竣工)



外苑南詰所 (平成30年12月竣工)



外苑西詰所 (平成30年12月竣工)



外苑駐車場 (平成30年3月竣工)

慰霊の庭 さくら陶板			
38 愛媛 陶工:山田 公夫	28 兵庫 陶工:市野 雅彦	18 福井 陶工:樹田屋 光生	8 茨城 陶工:向山 窯
39 高知 陶工:土居 博幸	29 奈良 陶工:唐古 窯	19 山梨 陶工:渡邊 国夫	9 栃木 陶工:瀧田 真一・瀧田 史子
40 福岡 陶工:熊谷 守	30 和歌山 陶工:寒川 柗豊	20 長野 陶工:桜井 芳孝	10 群馬 陶工:南雲 龍比古
41 佐賀 陶工:井上 萬二	31 鳥取 陶工:坂本 章	21 岐阜 陶工:七代 加藤 幸兵衛	11 埼玉 陶工:原 清
42 長崎 陶工:石丸 慶大	32 島根 陶工:多々納 真	22 静岡 陶工:五代 春秋果	1 北海道 陶工:南 正剛
43 熊本 陶工:井上 泰秋	33 岡山 陶工:隠崎 隆一	23 愛知 陶工:加藤 繁紀	2 青森 陶工:津軽金山 焼
44 大分 陶工:坂本 工	34 広島 陶工:山根 興哉	13 東京 陶工:中内 順子	3 岩手 陶工:雪ノ浦 裕一
45 宮崎 陶工:生楽 陶苑	24 三重 陶工:森 一蔵	14 神奈川 陶工:鈴木 三成	4 宮城 陶工:田代 里見
46 鹿児島 陶工:内山 聡司	35 山口 陶工:兼田 昌尚	15 新潟 陶工:高井 進	5 秋田 陶工:佐藤 秀樹
47 沖縄 陶工:宮城 秀雄	36 徳島 陶工:森 行雄	25 滋賀 陶工:澤 清嗣	6 山形 陶工:和久井 修
	26 京都 陶工:伯耆 正一	16 富山 陶工:池上 猛	7 福島 陶工:宗像 利浩
	27 大阪 陶工:北野 勝彦	17 石川 陶工:浅蔵 五十吉	



150年記念事業の詳細は下記をご覧ください。
記念事業特設サイト
<http://www.yasukuni.or.jp/150th/>



御創立150年を記念して公式Instagramを公開中!
「靖國神社にまつわる150のこと」



靖國神社

東京都千代田区九段北三一一一

電話：03-3261-8326 <http://www.yasukuni.or.jp/>